



ご挨拶

平素は、本誌をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

弊社は、主に、ガスケット・パッキンなどのシール製品、ふっ素樹脂に代表される機能樹脂製品、ベローズ、バルブといった真空製品を取り扱い、プラント・機器等の基幹産業及び半導体を中心とした先端産業に向けた研究開発を行っております。

特に環境問題については、全社をあげて対応を強化しており、なかでも石綿問題に関しては、90年代より各種非石綿製品の開発を進め、すでに全製品についてノンアス[®]製品（石綿代替製品）のラインアップを完成いたしました。これらノンアス[®]製品のなかには、従来製品とは全く異なるコンセプトを持った新製品も含まれ、石綿代替製品としての実績を積み重ねつつあります。また、石綿製品は長期の実績に基づきユーザー各位の信頼を獲得してまいりましたが、ノンアス[®]製品にあっては、実績に代わる信頼性評価技術の確立が不可欠であり、こうした評価技術領域についても、弊社は業界を先導してきたとの自負を持っております。

こうした状況を踏まえ、弊社は先期末をもって全石綿製品の製造を停止し、全面的ノンアス[®]化に先鞭をつける決意を固めるにいたしました。

また、国内産業の海外移転を受けて、弊社も生産部門の海外移管、海外販売拠点の充実に努めてまいりましたが、アライアンス、サテライト生産の一層の拡大と海外での現地技術要請に迅速に対応することを目的として、2004年、上海にシールとふっ素樹脂の研究技術機構を立ち上げその拡充に努めるとともに、中国の大学及び学協会との交流を進めています。

一方、国内におきましても、今年はじめ、東京都町田市にMRTセンターを開設し、ふっ素樹脂をはじめとする機能樹脂製品の研究開発を集約し、奈良県五條市にあるシール・エラストマー製品研究開発部門とともに、ユーザー各位の要望に対し、一層迅速な対応が取れるよう、体制を確立いたしました。

今後とも、弊社は、その保有する基盤技術の強化を図るとともに、さらに各種先端技術を組み合わせることで、新たな製品開発と市場開拓を進めてまいりたいと考えております。

また弊社は来年、創業80周年を迎え100年に至る節目の年となります。もう一度原点に戻り、私共の基本理念である「世界を舞台に常に新たなValue & Quality 企業価値の創造と経営品質の向上」を社員一丸となりめざしていく所存です。

皆様方におかれては、忌憚ないご意見を頂戴できますよう、また弊社製品を変わらずご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

執行役員 PM（プロダクトマネージャー）担当 西田 隆仁